

令和3年度

天童市 一般会計 歳入歳出決算審査意見書(抜粋)  
特別会計

天童市監査委員

監 第 26 号  
令和 4 年 7 月 30 日

天童市長 山 本 信 治 様

天童市監査委員 奥 山 吉 行

天童市監査委員 熊 澤 光 吏

令和 3 年度天童市一般会計及び各特別会計  
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により、審査に付された令和3年度天童市一般会計・各特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類並びに基金の運用状況について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1 審 査 対 象 .....	1
第2 審 査 方 法 .....	1
第3 審 査 期 間 .....	1
第4 審 査 結 果 .....	1
第5 決 算 審 査 の 概 要 .....	2
1 決 算 の 総 括 .....	2
2 一 般 会 計 .....	6
3 普 通 会 計 の 財 政 状 況 .....	26
4 特 別 会 計 .....	31
5 財 産 に 関 す る 調 書 .....	44
6 基 金 の 運 用 状 況 .....	48
7 む す び .....	49

### 《 決 算 審 査 資 料 》

表-1 収 入 未 済 額 科 目 別 年 度 別 内 訳 表 .....	51
表-2 一 般 会 計 決 算 の 状 況 (5か年間) .....	52
表-3 一 般 会 計 款 別 節 別 支 出 額 集 計 表 .....	54
表-4 市 債 現 在 高 の 推 移 .....	56
表-5 指 数 ・ 比 率 等 の 推 移 .....	56

# 令和3年度天童市一般会計及び 各特別会計歳入歳出決算審査意見書

## 第1 審査対象

令和3年度 天童市一般会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市国民健康保険特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市用地買収特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市財産区特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市介護保険特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市市民墓地特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 天童市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算  
令和3年度 各会計実質収支に関する調書  
令和3年度 財産に関する調書  
令和3年度 各基金の運用状況

## 第2 審査方法

決算の審査は、令和4年7月1日付けで市長から審査に付された令和3年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに基金の運用状況について、歳入歳出簿、その他関係簿冊並びに収入支出証書類と照合調査するとともに、関係職員の説明を聴取したほか、例月出納検査、定例監査の結果を参考にし、法令、その他の規定に従って処理されているか、予算の執行が適正であるかに主眼をおいて実施した。なお、現金、預金の残高確認、証書類の残高確認、証書類の検査等については、別に法の規定に基づく例月出納検査において実施した。

## 第3 審査期間

令和4年7月1日 から 7月30日 まで

## 第4 審査結果

審査に付された各会計の決算及び付属書類は、関係法令に従って作成されており、計数的に正確であり、予算の執行についても概ね適正であると認められた。

また、各基金は、それぞれの設置目的に沿って運用されており、決算における計数は正確で適正と認められた。

## 7 む す び

令和3年度の一般会計と特別会計の各会計相互間の繰入金、繰出金を除いた決算総額は、歳入47,355,791千円（前年度比2,356,388千円減）、歳出44,822,804千円（前年度比2,172,422千円減）、実質収支額2,412,270千円で、前年度に比べ202,694千円減少しました。

普通会計の歳入については、自主財源が14,424千円（0.1%）増加し、依存財源が4,308,120千円（20.0%）減少しております。

自主財源については、財政調整基金繰入金の皆減等により繰入金が減少しており、依存財源については、特別定額給付金給付費補助金の皆減等により国庫支出金が減少しております。

個人市民税については、前年度に比べ26,321千円（0.9%）の減少で、これは個人所得が減少したこと等の要因が大きいものと思われます。また、法人市民税については、前年度に比べ20,215千円（3.1%）増加しております。一方、固定資産税は、新型コロナウイルス感染症対策による減免により、前年度に比べ167,350千円（4.2%）減少しており、都市計画税は、前年度に比べ22,937千円（4.2%）の減少となりました。

市税の収入率（現年度分）は99.2%であり、滞納繰越分を含めた収入率は93.2%で、前年度に比べ0.2ポイント向上しております。

次に歳出については、消費的経費が前年度に比べ4,713,886千円（19.0%）減少しております。特に、補助費等が減少し、主なものとして特別定額給付金の皆減等が挙げられます。一方、投資的経費については、前年度に比べ995,440千円（29.7%）減少しております。これは、普通建設事業費が減少したことによります。また、令和3年度は、第七次天童市総合計画の5年目に当たり、持続可能な健全財政の堅持に向けて、厳しい財政状況のなか徹底した経費削減に取り組みました。

これにより、令和3年度末（出納整理期間を含む）における、財政調整基金等の積立金現在高は、財政調整基金が増加したこと等により、全体として2,889,419千円（45.5%）増加し、9,235,775千円となっております。

特別会計は7会計からなっており、前年度に比べ、歳入が16,046,095千円で2,426,452千円（17.8%）、歳出が15,414,005千円で2,371,380千円（18.2%）、それぞれ増加しております。その結果、歳入歳出差引残額及び実質収支額は2,412,270千円となっております。

最終の資金期末残高は1,895,364千円で139,048千円の増加となっております。

各会計別にみると、歳入決算の増加額が大きい特別会計は工業団地整備事業で、減少額が大きい特別会計はありませんでした。

以上が、令和3年度の決算概要であります。地方交付税及び臨時財政対策債等の増加により歳出に対する十分な財源が担保され実質黒字であり、財政調整基金の積み立てに至っております。

本市の財政状況を示す経常収支比率は、地方特例交付金の増加等により6.5ポイント改善しました。

市は、株式会社スポーツクラブ天童の会員制フィットネスクラブ「ビーフリー」の施設の寄附を受け令和4年度に健康寿命を高めるためとして、同じ場所に今年度約1億円の予算で健康増進施設を開設するとしています。当初予定している利用者数を確保し、継続していけるかが重要となります。また、費用対効果を検討していくことが求められます。

次に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴う、令和3年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率についてですが、令和2年度と同様、各比率とも健全な段階であり、早期健全化基準に達している比率はありません。

最後に、本市ではこれまで大型の投資事業を行ってきており、将来の財政への影響度が大きいと言えます。令和4年度は、道路橋梁整備事業等により約25億円の投資を予定しております。政府は、2021年6月に示した財政健全化計画について、2025年度の財政の黒字化目標を検証し、また財政出動を制約しないとしています。しかし、新型コロナウイルス感染症対策等で新規国債が増発され、国の長期債務が令和4年3月末で1,000兆円を超えました。財政再建目標はあるものの、将来、計画の見直し等により地方の財政にも影響してくることが予想されます。

また、6月に国家公務員及び地方公務員法の改正により、定年年齢を2023年度から2031年度まで2年ごとに1歳ずつ引き上げることとなりました。この改正により市の財政に与える影響も検討していく必要があると考えます。

今後の事業・施策の展開に当たっては、投資効果を十分に見極め、全会計のバランスに配慮しながら、慎重に判断していく必要があると考えます。